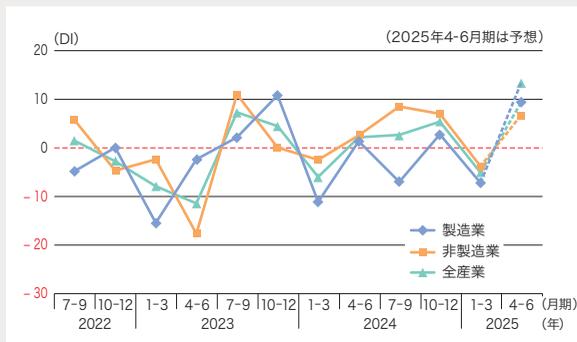


① 業況概要(自社) 製造業、非製造業とも低下、マイナス水準に転じる

静岡県東部地域における2025年1-3月期の業況判断DI(全産業:前期比)は低下に転じ、4期ぶりにマイナス水準となった(前期5.3→今期:-5.1、以下同様)。製造業は金属製品や自動車関連を含むその他製造業などで判断が悪化、非製造業も卸・小売・サービスでDIが低下した。足元の売上・利益等は全般では堅調に推移しているが、米国の関税政策の動向に対する不安感、原材料・商品価格の上昇継続、今後の国内景気への懸念等が業況判断を押し下げているものとみられる。

2025年4-6月期の予想DI(今期比)は全産業で9.2、うち製造業は13.2、非製造業は6.6といずれも大幅な上昇となり、状況回復への期待感がうかがえる。



業種別天気図



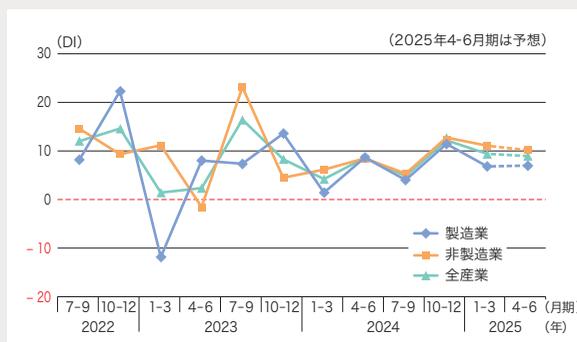
(2024年10-12月期、2025年1-3月期は前期比。2025年4-6月期は今期比予想)

	製造業	食料品	パルプ・紙・紙加工品	一般機械器具	非製造業	卸・小売・サービス	旅館・その他宿泊所	建設
2024年10-12月期	☁️	☁️	☀️	☁️☔️	☁️	☁️	☀️	☀️☁️
2025年1-3月期	☁️	☁️	☀️☁️	☀️☁️	☁️	☁️	☀️☁️	☁️
2025年4-6月期	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☀️☁️

② 売上動向 製造業、非製造業ともDI低下も、プラス水準を維持

2025年1-3月期の売上動向DI(全産業:前期比)は若干低下したもののプラス水準を維持し(前期11.6→今期8.6)、売上の増加傾向が続いている。製造業では、食料品と一般機械器具で大幅に改善されたが、金属製品とその他製造業で大幅に低下したため、全体では10.8→5.8となった。一方、非製造業では建設で大幅に改善したが、卸・小売・サービスでは低下に転じ、全体では12.2→10.4となった。

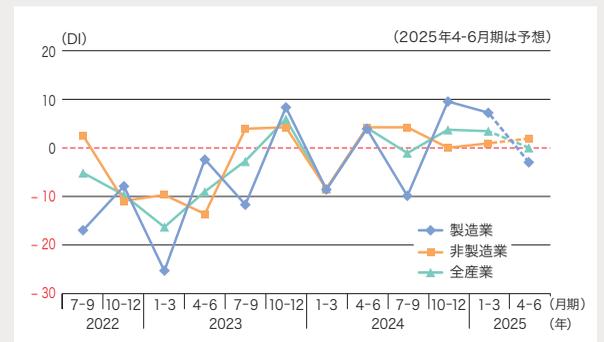
2025年4-6月期の予想DI(今期比)は、全産業で8.1、うち製造業6.0、非製造業9.4といずれも今期と同程度の水準が見込まれている。



③ 利益動向 製造業はやや低下もプラス水準維持、非製造業はわずかに上昇

2025年1-3月期の利益動向DI(全産業:前期比)はほぼ横ばいで推移し、2期連続でプラス水準となった(前期3.7→今期3.4)。製造業では一般機械器具と食料品で大幅に改善したが、金属製品などで大幅に低下し、全体では9.5→7.2とやや低下したが、プラス水準は維持されている。一方、非製造業はその他卸・小売・サービスはやや低下したが、建設や旅館・その他宿泊所では改善し、全体では0.0→0.9とわずかに上昇に転じた。

2025年4-6月期の予想DI(今期比)は全産業で0.0、うち、非製造業は1.9と若干の改善が見込まれるが、製造業は-3.0とマイナス水準に転じている。



④ 経営上の問題点 製造業は原材料等値上りと売上減、非製造業は人材関連が上位

「人材の育成」の割合が最も高いが、「原材料・資材・仕入商品等の値上り」「受注・売上の停滞・減少」もほぼ同程度で続く。製造業が「受注・売上の停滞・減少」と「原材料・資材・仕入商品等の値上り」が最も多いのに対し、卸・小売・

サービスは「人材の育成」「人件費の増加」「求人難」、建設は「人材の育成」「従業員の高齢化」「求人難」が多く、非製造業全体では人材関連項目が上位にある。

	2024年7-9月期		2024年10-12月期		2025年1-3月期		前期比 割合変動
	企業数	割合	企業数	割合	企業数	割合	
1. 人材の育成	77	40.5%	66	34.9%	68	38.9%	↑
2. 原材料・資材・仕入商品の値上り	81	42.6%	72	38.1%	67	38.3%	↑
3. 受注・売上の停滞・減少	62	32.6%	58	30.7%	65	37.1%	↑
4. 従業員の高齢化	62	32.6%	63	33.3%	61	34.9%	↑
5. 求人難	76	40.0%	68	36.0%	58	33.1%	↓
6. 人件費の増加	67	35.3%	67	35.4%	52	29.7%	↓
7. その他経費の増加	36	18.9%	39	20.6%	35	20.0%	↓
8. 生産・販売能力の不足	17	8.9%	20	10.6%	19	10.9%	↑

(回答企業190社) (回答企業189社) (回答企業175社)

調査の概要

- 調査目的 静岡県東部地域(富士川以東)の景気動向と先行きを予測し、主要産業の実態を把握
- 調査対象企業 静岡県東部地域に立地する企業718社 回答企業数175社(回答率24.4%)
- 調査方法 当研究所の指定した項目につき実績と見通しを記入(回答は紙とウェブを併用)
- 調査対象期間 実績:2025年1-3月期 見通し:2025年4-6月期
- 調査期間 2025年2月中旬-3月中旬

DI:ディフュージョンインデックス(Diffusion Index)の略。「上昇、増加、好転」した企業割合から「下降、減少、悪化」した企業割合を差し引いたもので、業況判断を見る指標